

# ひょうごJCC

兵庫県協同組合連絡協議会機関誌



2023. 10. 31

兵庫JCCは兵庫県内の生協、JA(農協)、JF(漁協)、JForest(森林組合)の協同組合組織相互の連絡提携、共通課題の実行および全国、海外の協同組合運動との連携を図ることを目的に、1984年7月7日に設立されました。

「人とひとの心がふれあう、暮らし良い兵庫を目指してー協同が息づくまちづくりー」を基本理念として、共通行動目標の実践に取り組んでいます。

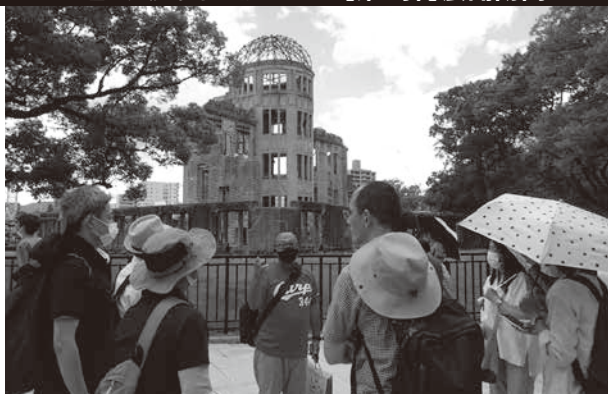
1. 協同組合活動スナップ ..... 1
2. 第101回国際協同組合デー・兵庫県記念大会を開催 ... 2
3. 第101回国際協同組合デー・兵庫県記念大会  
兵庫JCC宣言 ..... 3
4. 2023年度「虹の仲間づくりカレツジ」開催 ..... 4

C  
o  
n  
t  
e  
n  
t  
s

5. ひょうごまるごと健康チャレンジ2023  
いよいよ11月末が締切です! ..... 5
6. 今協同組合では一各協同組合からの報告ー  
JA(農協) / 生協 ..... 6  
JForest(森林組合) / JF(漁協) ..... 7
7. 協同組合運動に生きる  
兵庫県農業協同組合中央会 教育部 次長 大塚 奈々美 ..... 8

## ● ● ● 協同組合活動スナップ ● ● ●

### ピースアクション2023(第1弾)広島訪問



#### 生協

8月6日原爆が投下された広島平和記念式典の日に、ピースアクション実行委員会の10名で広島市を訪問しました。原爆投下後の被爆の碑めぐりと、今年で開催16年目を迎える市民の平和への想いが詰まった「ピースナイター」を観戦し、平和への願いを次世代に引き継ぐ大切さを再認識しました。

### 兵庫の直売所買って応援キャンペーン



#### JA(農協)

J Aグループ兵庫では、「#兵庫の直売所買って応援キャンペーン」を実施しています。兵庫県内JAの直売所で購入した兵庫県産農畜産物に関する写真や動画を撮影し、Instagramに投稿するものです。詳細は6ページもしくは、Instagramアカウント(@jathyogo)をご覧ください。

### 第48回兵庫県漁民物故者合同供養祭



#### JF(漁協)

9月13日に第48回兵庫県漁民物故者合同供養祭が、和歌山県の高野山大学松下講堂において、ご遺族をはじめ関係者109名が参列し、厳かに執り行われました。

### ひょうご木材フェアが4年ぶりにハーバーランドに帰ってきました



#### JForest(森林組合)

9月17日に神戸ハーバーランドにて、第38回ひょうご木材フェアが開催されました。ハーバーランドでの開催は4年ぶり、当連合会の人気DIY「ハンズ&ハンズ」も大盛況でした。

#### ●編集発行

兵庫県協同組合連絡協議会(兵庫JCC)  
Hyogo-ken Joint Committee of Co-operatives  
生協・JA(農協)・JF(漁協)・JForest(森林組合)

#### ●兵庫JCC事務局

兵庫県生活協同組合連合会 TEL(078)391-8634  
兵庫県農業協同組合中央会 TEL(0794)87-0062  
兵庫県漁業協同組合連合会 TEL(078)940-8013  
ひょうご森林林業協同組合連合会 TEL(078)599-7461

## 第101回国際協同組合デー・兵庫県記念大会を開催

国際協同組合デーは、毎年7月の第1土曜日に、世界の協同組合の仲間が心をつなげて、協同組合運動の発展を祝い、平和とより良い生活を築くために協同組合運動の前進を誓い合う日として国際協同組合同盟が定めました。

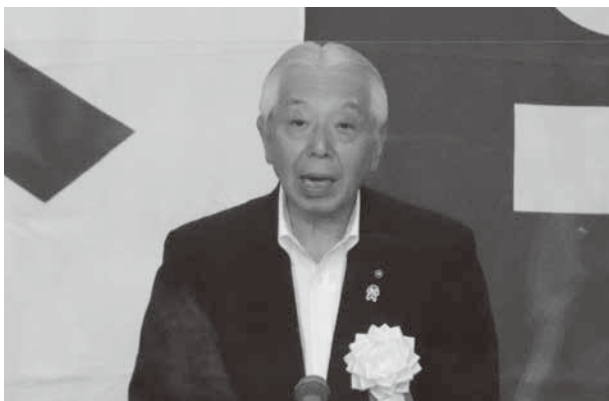
これを受けて兵庫 JCC は7月7日、兵庫県民会館けんみんホールで「協同の力で未来を拓(ひらく)」をテーマに、第101回国際協同組合デー・兵庫県記念大会を開催、県内の生協・JA（農協）・JF（漁協）・JForest（森林組合）の組合員や役職員267名が参加しました。

第1部の記念式典では、主催者を代表して、JA兵庫中央会の福本博之代表理事会長が「先人たちの取り組みを学びつつ、次世代のために協同組合がより一層連携を強くし、地域社会の持続的な発展を実現しよう」とあいさつしました。また、来賓である兵庫県農林水産部の呉田利之次長、神戸市経済観光局の安岡正雄農政担当局長、一般社団法人日本協同組合連携機構の比嘉政浩代表理事専務からお言葉をいただきました。

続いて、兵庫県漁協女性部連合会の高山淳子会長が「第101回国際協同組合デー・兵庫県記念大会 兵庫 JCC 宣言」を力強く読み上げ、満場一致で採択されました。

第2部では、料理研究家の枝元なほみ氏が「みんなが幸せに生きるために～たのしく健康に！食の大切さのおはなし～」と題し、自身の闘病生活を踏まえて、食の大切さを伝える講演を行いました。

また、特別展として、NPO 法人 CODE 海外災害援助市民センターの協力を得て、2月に発生したトルコ・シリア地震の支援と復興を紹介したパネル展示を行いました。



主催者を代表してあいさつするJA兵庫中央会の福本博之会長



兵庫 JCC 宣言を読み上げる兵庫県漁協女性部連合会の高山淳子会長



講演する料理研究家の枝元なほみ氏



2023年に起きたトルコ・シリア地震の展示

## 第101回国際協同組合デー・兵庫県記念大会 兵庫JCC宣言

2023年、兵庫JCCは創立40周年を迎えます。この40年間は、私たち協同組合どうしのパートナーシップをとおして、県民が平和で安全・安心な暮らしを実現する歩みでもありました。

その記念となる本日の国際協同組合デー・兵庫県記念大会において、あらためて協同組合に関係をもつ方々とともに、心をひとつに協同組合運動のさらなる発展を誓いたいと思います。

現在世界は、インターネットでつながり、膨大な情報が瞬時に共有されることで、個人がより多様な価値観と、多彩な文化に触れることが可能になりました。

一方で国家政治による支配と、人々の自治をめぐる争いは無くなってはいません。ロシアによるウクライナへの軍事侵攻から1年以上を経てなお、その収束が見出せず、スーダンをはじめ各地の紛争も続いており、未だ世界は平和で安全・安心な暮らしの実現が難しい状況にあります。

また、人口増加と気候変動による自然災害の増加が、国家間の経済的な格差を助長し、食料やエネルギーの安全保障にも影響を及ぼしています。

世界中で物価高騰が続き、日本国内でも輸入に頼ってきた農、水、畜産物をはじめとする食料は、安定供給が困難な事態に直面しており、今後、国内食料自給率を高めていく強い施策が望まれます。

今、協同組合は、つくる責任、つかう責任を将来に向けて果たし続けるために、更に発展させる時期に来ています。

私たちは身近な暮らしの中での生産と消費の関係を深く理解しあい、より強固に、持続的に結びつき、次世代に引き継いでいかなければなりません。

国際協同組合同盟（ICA）は、2023年国際協同組合デーのスローガンを「協同組合は持続可能な社会づくりに貢献します」と決めました。

私たち兵庫の協同組合は、兵庫ならではの持続可能な開発目標（ローカルSDGs）に向かって互いに助け合い、支えあう協同の力を尽くし、兵庫県記念大会のテーマである「協同の力で未来を拓く」役割を果たすことを、ここに宣言します。

2023年7月7日

兵庫県協同組合連絡協議会（兵庫JCC）

# 2023年度「虹の仲間づくりカレッジ」開催

兵庫 JCC では、協同組合の次代を担う職員同士が顔の見える関係をつくり、地域、社会の中で果たすべき役割をともに考えることを目的に、2015 年度から「虹の仲間づくりカレッジ」を実施しています。

今年度は、SDGs の目標を踏まえ、生産段階や環境・地域のコミュニティにおける課題を協同組合としていかに解決するか、をテーマにして協同組合が連携してどのような取り組みができるかを参加者が話し合い、実践することにしました。

## < 第 1 回 >

第 1 回は 8 月 3 ～ 4 日に三木市のコープこうべ協同学苑で開催され、9 名が参加しました。

1 日目は、参加者の自己紹介のあと、摂南大学農学部の北川太一教授を講師として「協同組合が地域社会に果たすべき役割」と題して基調講義を受け、その後これまでの虹の仲間づくりカレッジの取り組みを振り返り、3 班に分かれて北川教授の講義内容を踏まえてこれからの協同組合の役割について、ディスカッションを行いました。その後、協同学苑史料館の視察と「協同組合の歴史と理念」について学習しました。最後に参加者が互いに自組織の成り立ちを紹介しました。

2 日目は、SDGs に関して、協同組合間の協同による社会的課題の解決について話し合いました。まず、自組織が SDGs の 17 の目標について、どのようなことに取り組んでいるのか、どのようなことが社会的課題だと認識しているのか、紹介し合いました。午後からは、具体的な課題を設定して、解決するための具体的な取り組みを参加者で検討しました。



【第 1 回】摂南大学北川教授による基調講義



【第 1 回】コープこうべ協同学苑史料館の視察



【第 2 回】実行計画の発表

## &lt;第2回&gt;

第2回は10月6日に神戸市の兵庫県民会館で開催され、8名が参加しました。

第1回の検討内容をもとに、各班で取り組む内容について実行後の効果測定も踏まえて実行計画を作成しました。

今後各班では、第2回で策定した実行計画を実践し、その取組結果を2024年2月9日に発表します。

## &lt;各班の企画内容&gt;

- ・魚、海に興味を持ってもらうために、子どもを対象に未利用魚を中心とした漁協の水産加工場の見学と、ちりめん加工の際に発生する様々な海洋生物についての学習を行う。
- ・栄養バランスについての理解を地域住民に広めるため、地域の大きなイベントで、栄養バランスに関するクイズやアンケート、食事の提供を行う。
- ・魚食への関心を高めるために、コープこうべの子育て支援サービスの子どもの対象に、魚食の紹介を行う。

## ひょうごまるごと健康チャレンジ2023 いよいよ11月末が締切です!

兵庫県内の生協や協同組合が一緒になって取り組んでいる、楽しみながら健康な生活習慣を身につける取り組み「ひょうごまるごと健康チャレンジ2023」。チャレンジを達成された方からの声が届いています。

## ☆達成された皆さんの感想☆

- 早起きして体操して気持ちよかった。
- 自分流に取り組み、期間を決めて達成できると、次々といろんなことがやりたくなりました。
- 少しずつ体が柔らかくなってきた気がします。今後も続けていきたいです。
- 毎日目標を立てて実行しています。おかげで食事がおいしくなりました。



**A 運動コース**  
自分に合った運動を続けよう!

チャレンジ例  
 ●いつもより1000歩多く歩こう  
 ●エスカレーターは使わない  
 ●ストレッチをしよう  
 ●目標を決めて筋トレする  
 ●好きな音楽でダンス  
 ●100回体操 などを

※ 夏休みラジオ体操に挑戦  
 ※ 外で体を動かそう

**B 生活習慣コース**  
毎日の生活の中でできること!

チャレンジ例  
 ●朝・晩に歯を磨く  
 ●たばこをやめる  
 ●決まった時間に起床  
 ●寝起きの水を飲む  
 ●あいうべ体操 などを

※ 食事の後に丁寧な歯磨き  
 ※ 互しく褒めあい  
 ※ テレビやゲームは時間を決めて

**C リフレッシュコース**  
リラックスできることや人とのふれあいを!

チャレンジ例  
 ●だれかとおしゃべり  
 ●毎日外出する  
 ●ガーデニングや家庭菜園  
 ●地域の活動(趣味・ボランティア)に参加  
 ●海外につかる  
 ●書き状を送る などを

※ レッカリ運動をしよう

**D 食事コース**  
三度の「食べる」を見直そう!

チャレンジ例  
 ●ベジファースト  
 ●惣惣食品や冷凍食品を摂る  
 ●野菜をたくさん食べる  
 ●水分は1日6L未満に  
 ●食事は遅く  
 ●朝八分目を守る などを

※ 1日30回もう  
 ※ 朝食を食べる

今から参加される方はもちろん、すでに達成された方も違うコースにチャレンジしてはいかがでしょうか。参加をお待ちしております!

☆チャレンジ期間は2023年11月30日まで(期間中のお好きな30回)

終了後はWEBで報告または、結果報告はがきを提出ください。

詳しくはこちらから⇒

<https://www.coop-hyogo-union.or.jp/activity/?p=1453>



WEBでの結果報告はこちらから⇒

<https://www.coop-hyogo-union.or.jp/health/mail.html>



# 今 協同組合では —各協同組合からの報告—

## JA(農協)から

地元のもの、国産のものを選んで食べよう。それは、未来へつながるお買い物。

現在、JAグループでは、「国民が必要とし消費する食料は、できるだけその国で生産する」という、「国消国産」という考え方を提唱し、この考えを多くの人に理解してもらうため、様々な広報活動を展開しています。

今年は10月1日～11月30日を「国消国産月間」として、「実りの秋！国消国産JA直売所キャンペーン」を展開しています。全国のJA直売所を訪問し、店内掲示のポスターの二次元コードをスマートフォンに読み込ませることでスタンプをためて、3つ貯めると47都道府県の農畜産物・加工品が14,100名様に当たります。

さらに本県では、11月30日まで、「#兵庫の直売所買って応援キャンペーン」を実施しています。抽選で、1万円相当の但馬牛・神戸牛や、淡路島産のタマネギ(10kg)などが11名様に当たります。応募手順は以下の通りです。

- ① Instagramアカウント「JA兵庫中央会(@ja\_hyogo)」をフォロー。
- ② 「#兵庫の直売所買って応援キャンペーン」と「#JAグループ兵庫」の2つのハッシュタグをつけて、県内JAの直売所で購入した兵庫県産農畜産物に関する写真や動画を投稿。
- ③ 兵庫県内JA直売所で購入した農畜産物だとわかる写真もあわせて投稿。



「国産」を食べて  
応援キャンペーンチラシ



JA直売所キャンペーン  
ページはこちら



JA兵庫中央会の Instagram  
アカウントはこちら

## 生協から

### 阪神医療生協「健康まつり」を開催

阪神医療生協では8月6日に法人全体をあげて組合員主体の運営で「地域との協働」を目的とした健康まつりを開催しました。

組合員理事が務める実行委員長を中心に全支部合同の実行委員会“わくわく！健康まつりミーティング”を3月から毎月1回、計6回開催、延べ352名が会議に参加しました。最初に、普段より健康づくりを行っている私達の健康の秘訣を地域に伝えようと話し合ったところ92個の秘訣があがり、それを伝える取り組みを行うことが決まりました。各支部で担当ブースを分担し、多くの組合員の意見、工夫、思いが繋がっていききました。

数年前より地域や学校との協働を進めており、今回は尼崎市総合政策局小田地域課と共催。町会や小学校など尼崎市内に広く宣伝することができ、市内の高校3校、地域団体6団体、地元飲食店7店舗が参加する地域と協働する場にもなりました。



体操教室は参加者にも好評でした

当日は、職員にも広く参加を募り、職員147名と地域組合員110名が受付、案内、健康チェックなど各ブースを運営、1,200名を超える方にご来場いただき、会場は活気と笑顔にあふれていました。

主人公を組合員に、職員との協同、地域との協働を今後も大切にし、“組合員で良かった、尼崎に阪神医療生協があって良かった”を目指していく、大きな一歩になりました。



健康チェック(血圧・握力・体組成・骨密度・足趾力)の様子

# JForest(森林組合)から

## 「神戸の森とまちがつながるフォーラム」を実施

8月30日に神戸市が主催し、“こうべ森と木のプラットフォーム”（当連合会内に事務局）が実施主体となって「神戸の森とまちがつながるフォーラム」が開催されました。神戸市内外の川上から川下までの事業者や消費者などあわせて92名にご参加いただきました。

当日は、久元神戸市長の挨拶のあと、林野庁や神戸市の職員、大学の先生、実際に神戸市内で神戸市産の木材の加工をされている業者による講演とパネルディスカッションが行われました。



当日の様子

パネラーの「木を通じて人と自然の関りを考えていくこと。子ども対象だけでなく、生涯教育としてのきっかけを作っていくことが大切。できるだけ身近な木を使っていく社会になればいい」という言葉が印象的でした。

神戸市には林業がなく、森林組合もありません。そのため、限られた人工林（スギ・ヒノキ）や広葉樹林の森林資源を活かしていくのは“こうべ森と木のプラットフォーム”に参画する事業者同士の“つながり”や消費者としての個人の行動にかかっています。今後ともひょうご森林林業協同組合連合会では、このプラットフォームのさらなる活性化に向けてイベント等を展開していきたいと考えてます。



フォーラムのチラシ

【あなたも『こうべ森と木のプラットフォーム』に参画しませんか？】

～ご関心のある団体様・個人様は下記までご連絡お待ちしております！～

＜お問い合わせ先＞

こうべ森と木のプラットフォーム事務局（ひょうご森林林業協同組合連合会 内）

TEL 078-599-7461 MAIL Kobemori-platform@hyogoforest.or.jp

HP <http://www.hyogoforest.or.jp/platform/index.html>



# JF(漁協)から

## 今年も開催！ 2023年マリンスクール

コープこうべ・JF神戸市・JF兵庫漁連による協同組合の連携活動として毎年実施しているマリンスクール（2コース）が今年も開催され、参加した親子連れ（約111名）は楽しく漁業や県内産水産物について学びました。

第41回となるJF神戸市コース（7月27～28日）では「せり市」を見学したり、「魚のつかみ取り」、「ヒラメ稚魚の放流」、「タコの塩もみ」などを体験したほか、兵庫の漁業と環境のつながりを学習しました。また、稚魚の放流では、神戸市立栽培漁業センターの協力で魚を増やすことの大切さを学びました。

一方、第13回目となるJF兵庫漁連 SEAT-CLUB コース（7月29日・7月30日）では「干しダコ作り」や「アジの三枚おろし」、「チリメンモンスター探し」、「兵庫の漁業と環境の学習」に挑戦しました。みなさん、普段あまり魚にふれる機会がないのか、どの内容も親子で一緒に目を輝かせて取り組んでいました。

どちらのコースも、大盛況のうちに終了し、とても楽しんでもらえたようです。

JF兵庫漁連では、このマリンスクールを通して、漁業や水産物をより広く身近に感じてもらえるよう、今後とも取り組んでいきたいと考えています。



兵庫の漁業と環境についての学習



セリの見学



干しダコづくり



アジのさばき方実習

## 協同組合運動 に生きる

## 組合員教育をめざした 職員教育の取り組み

兵庫県農業協同組合中央会 教育部 次長 **大塚 奈々美**



協同組合は、その誕生当初から「組合員教育」に重きを置いており、協同組合原則の源流である「ロッチデール原則」では「組合員教育に力を注ぐ」と掲げられています。その理念は変わることなく、現行の原則でも「教育・研修」が掲げられています。

なぜ教育が大切なのか。それは、協同組合は組合員の協同活動によって事業が成り立っているからです。裏返していえば、組合員が協同活動の必要性や、みずから参画することの大切さを忘れてしまえば、協同組合そのものが成り立たなくなります。

このことは、協同組合の職員として頭では理解していても、実際に十分な組合員教育ができているのかと問われれば、残念ながら答えはノーです。

JCAが実施した「協同組合に関する全国意識調査 2022 報告書 (2023 年 3 月)」で、「協同組合の理念」を知っているかという問いでは、協同組合の組合員でも 5 点中 1.83 点に留まっています。

(1 点 = まったく知らない、2 点 = 多少は知っている、3 点 = まあまあ知っている、4 点 = よく知っている、5 点 = 非常によく知っている、の加重平均)。つまり、ほとんど知らない組合員が多いということです。このままでは、いずれ組織内部から崩壊してしまうのではないかと、そんな危機感を感じます。

将来にわたって持続可能な協同組合であるためには、早急に、協同組合のかなめである「組合員教育」に力を注ぐことが重要です。

組合員教育を行うに当たっては、まずは組合員教育を行える職員を育成することが必要になりま

す。私たちJAグループでは、独自の資格認定試験を実施しており、協同組合の理念を学ぶ機会は複数回設けられています。しかし、あくまで理論であることから、日々の業務を通じて「一般企業で働くこと」と「協同組合で働くこと」の違いを実感することが重要となります。

そこで、今年度新たに協同組合学習資材を作成しました。内容は、単なる知識の学習ではなく、職員同士のディスカッションを主体にしています。例えば、協同組合と株式会社を比較してみ、疑問を感じる点や良く理解できない点はないか、またその点について組合員から説明を求められたらどのように答えるのか、などです。部署や支店等の単位で、職員がインストラクターとなり、学習会を実施することをめざしています。

2018 年の JCA の調査では、協同組合理念が身に付いている職員ほど、事業への功績が高い傾向にあり、また、職場での新たな提案や組合員とのコミュニケーションにも積極的に取り組んでいることが明らかになっています(『新時代の協同組合職員—地位と役割—(全国共同)』より)。

また、理念教育を行う上で重要なのは、職員のモチベーションを高めていくことです。理念を学ぶことで、組織の方向性や目標が明確になり、また、その価値観に共感することで、仕事に対する熱意や意欲が高まることが期待できます。理念が示す組織の目標や意義に基づいて働くことで、仕事に価値を感じ、仕事が単なる業務の遂行(仕事)ではなく、大きな志に向かって貢献している(志事)であると感じて欲しい、そう期待しています。